

■「わたしは神だぁ！」

映画『ねらわれた学園』（大林宣彦監督作品）の気が狂ったようなシュールなラストシーンで、岡田有希子を死に迫いやったことで有名な俳優・峰岸徹が腹に目玉を書いた全身タイツ姿＝悪の親玉としての正体をあらわにして叫ぶセリフ。大体勧善懲悪型のストーリーでは最後に悪の親玉が正体をあらわして負ける寸前に似たようなセリフをはいて増長するので、そういった展開を見るたびにこのセリフが脳内でリフレインしてしまう